

総括質疑

待機児童解消をどう図るのか

公明党（小野 たづ子議員）

新年度における保育関係事業では、保育環境の整備が実施され、交付金を活用した保育所の分園や新規開園などが予定されていますが、各保育所の予定定員及び開園予定年度について伺います。また、今後の待機児童解消の見通しについて伺います。

福祉部長 待機児童の9割強が0歳から2歳までの低年齢児であり、待機児童対策としては、平成28年4月からありゆみ保育園が分園開設により20名の定員増、小規模保育施設ナースリールームT&Y相模が丘が定員19名で開園、陽の丘保育園とひばり乳児園が家庭的保育施設として定員各5名で開園し、計49名の保育

が可能となります。また、平成29年度にナースリールームT&Y相模が丘運営者による認可保育園が定員60名程度で、麦つ子畑保育園が認可移行を目指し定員60名程度で開園準備を進めています。さらに、仮称南栗原保育園が定員80名程度で平成30年度の開園をめどに整備予定です。

現在、座間市子ども・子育て支援事業計画を前倒しして待機児童対策に取り組んでおり、予定事業の全てが実施できると、200名の定員増が図られ、待機児童解消に大きな効果が見込まれます。公立保育園の民営化や民間活力の活用を含め、今後も待機児童の解消に努めていきます。

過去最大400億円超えの一般会計予算の編成方針を問う

さま大志会（池田 徳晴議員）

平成28年度一般会計予算は初めて400億円台になりましたが、歳入総額の45%を占める市税の状況を伺います。自主財源が十分に確保されていない中で市民サービスはしっかりと実施しなければなりません。財源についての当局の見解を伺います。また、新年度の予算編成への考え方について伺います。

市長 市税の特徴として挙げられるのは、個人市民税の減額、法人市民税の増額です。個人市民税の減額は、高齢化の進行、個人所得の減少が影響していると考えます。法人市民税の増額は、本市における日産自動車を中心とした輸出企業の好業績が反映されて、

平成28年度一般会計当初予算の企画財政部所管事項のうち、教育、勤労とあわせて国民の三大義務である納税について、その公平性という観点から市税収納率の状況、税滞納者対策について伺います。また、最近の全般的な傾向及び引き続き平成28年度の対策を施した上での徴収見通しについてお示しくください。

市税収納率、税滞納者対策について問う！

新政いさま（京免 康彦議員）

税滞納者対策については、今後とも市税等収納向上特別対策委員会を中心として、国税OB及び県税OBの任期付短時間勤務職員や神奈川県短期派遣職員の豊富な経験と専門知識を活用し、徹底した財産調査や職員一人一人の効果的かつ効率的な滞納整理、早期の滞納処分を実施することにより、滞納累積を防ぐ手だてをすることに努めていきます。また、このような努力の成果が収入未済額の圧縮につながっていますので、平成28年度の収納率についても前年度を上回る結果となるよう引き続き努めていきます。

芹沢陸橋の塗りかえを赤い橋を市の象徴に！

日本共産党（中澤 邦雄議員）

都市部所管の平成28年度当初予算では、橋梁長寿命化修繕工事として市道11号線の小池大橋の整備が行われ、また、市道38号線と市道11号線との交差点改良工事も進められます。さらに、平成29年度の全面開園に向け芹沢公園が整備されます。付近にはヒマワリ畑や日産座間事業所もあり、これらを結節している芹沢陸橋は、赤い橋として昭和63年に架設され、その後一回塗りかえられましたが、10年以上経過し、色が剥けてしまっています。

座間市と言えばあの赤い橋ですので、市の中心地が整備されることにあわせて橋を塗装し、本市の象徴とすべきであります。

あると考えますが、見解を伺います。
市長 芹沢陸橋がランドマークという認識は私もあります。芹沢陸橋から南側はここ一兩年ですっきりきれいなになり、本市の真ん中にすばらしい市の都市公園ができますので、そこに恥ずかしくないような形をつくっていきたく思います。

都市部長 橋周辺の環境や景観を考慮すると、芹沢陸橋の塗りかえは必要であると考えており、平成28年度に芹沢陸橋塗りかえの調査、設計を行い、平成29年度には橋の耐震補強工事とあわせ、長寿命化工事に伴う塗りかえ工事を行う予定です。

議会中継を行っています

市民の皆さんに議会の様子をさらに広くお伝えするため、本会議のインターネット映像を配信しています。映像はインターネットに接続できるパソコン、またはスマートフォンやタブレット端末でもご覧いただけます。ぜひ、ご利用ください。

座間市議会 検索 **クリック!**

インターネット中継

ご覧いただけます。

○問い合わせ先
議会事務局
☎046(252)8872

本会議の概要

- ▽2月25日 開会、会期決定、会議録署名議員指名、議案上程・提案説明・質疑・委員会付託省略・討論・採決、議案上程・提案説明
- ▽2月26日 総括質疑・委員会付託、陳情上程・委員会付託、議員提出議案上程・提案説明・質疑・委員会付託・討論（省略）採決
- ▽3月4日 一般質問
- ▽3月7日 一般質問
- ▽3月8日 一般質問
- ▽3月25日 委員会審査報告・質疑・討論・採決、継続審査案件上程、基地対策特別委員会中間報告・質疑、議会改革特別委員会中間報告・質疑、議案上程・提案説明・質

ラクラル・オダサガとのペDESTリアンデッキ予算を問う

神奈川ネット（安海 のぞみ議員）

小田急相模原駅前西地区市街地再開発事業について、新年度予算で初めてペDESTリアンデッキに関する予算が明記され、その基本設計委託料が計上されました。委託の概要と設置予定の公共床の利用について伺います。また、今回は調査等のための予算編成ですが、実現に向けての考えを伺います。

都市部長 基本設計委託は、相模原市の再開発事業、ラクラル・オダサガからの歩行者の動線を考慮し、小田急相模原駅周辺の一体性を確保するための検証を行い、本市及び相模原市の道路管理者との協議資料の作成、横断施設を支える橋脚部分の位置や構造に

ついて制約条件の整理と対応方法の検討を行います。
公共床の利用方法については、子育て支援課及び保育課と協議中で、地域の方との協働により多世代交流の場、市民情報発信の場とすべく検討してまいります。

また、駅から横断施設を使って新たな建築物の中に入ることで、そこから相模が丘仲よし小道のほうにも行けたら非常にすきなことだと考えます。この建築物に車両の通行する道路を横断せずに安全に渡れることができ、駅周辺の一体性・回遊性を高めることは、本事業の価値を高める上で重要なものと考え、実現したいと考えています。